

第8章 産業振興に関連することについて

【農業振興について】

(1) 日進市産の農産物の消費（問46）

問46 あなたは、市内の商店や朝市などで日進市内で採れた農産物を購入したことがありますか。

「購入したことがある」と回答した人は、54.6%、「機会があれば購入したい」と回答した人は、35.8%となっています。

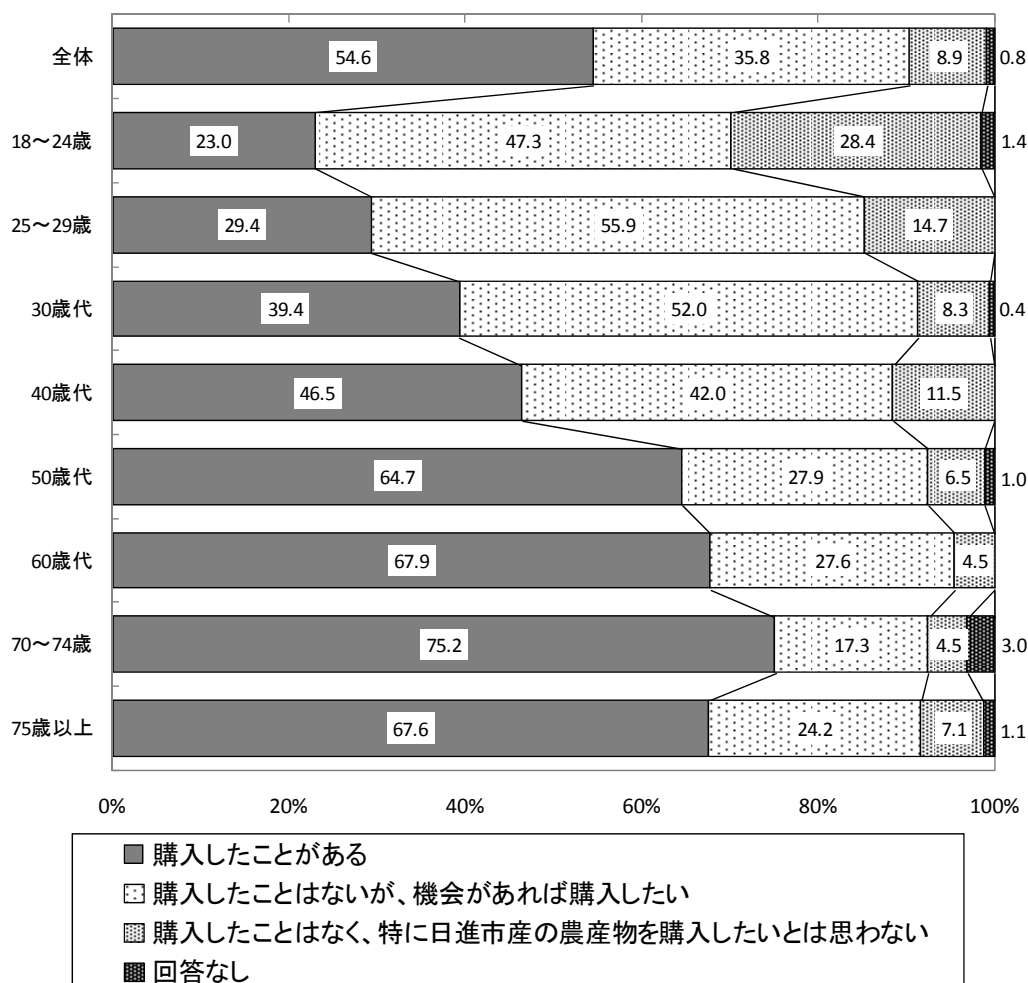
【年齢別にみた「日進市産の農産物の消費」の傾向】（図8-1）

○「購入したことがある」と回答した人は、54.6%、「機会があれば購入したい」と回答した人は、35.8%となっています。

○年齢別にみると、「購入したことがある」と回答した人は、18～24歳から70～74歳にかけて段階的に増えています。

○「購入したいとは思わない」と回答した人は、29歳以下で高くなっています。

図8-1 年齢別「日進市産の農産物の消費」



(2) 日進市内での農業体験（問 47）

問47 あなたはこれまで、日進市内で農業体験をしたことがありますか。

農業体験をしたことがあると回答した人は、26.0%で、そのうち「日進市内で農業体験をしたことがある」と回答した人は、19.4%となっています。

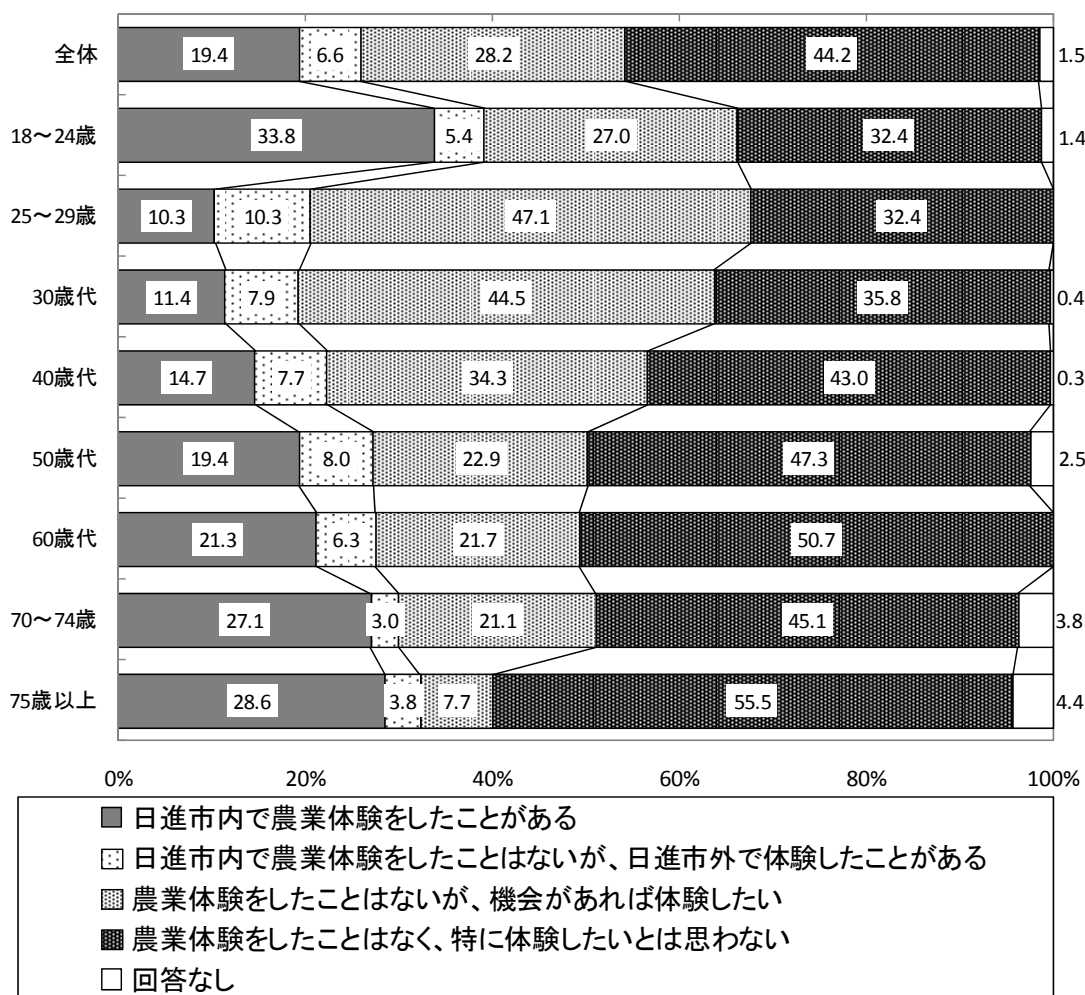
【年齢別にみた「日進市内での農業体験」の傾向】（図 8-2）

○農業体験をしたことがあると回答した人は、26.0%で、そのうち「日進市内で農業体験をしたことがある」と回答した人は、19.4%となっています。

○年齢別にみると、農業体験をしたことがあると回答した人は、18～24 歳が最も多く、25～29 歳から 75 歳以上にかけてほぼ段階的に増加しています。

○「機会があれば体験したい」と回答した人は、25～29 歳代、30 歳代、40 歳代でそれぞれ 47.1%、44.5%、34.3%と高くなっています。

図 8-2 年齢別「日進市内での農業体験」



(3) 開催・継続してほしいイベント（問48）

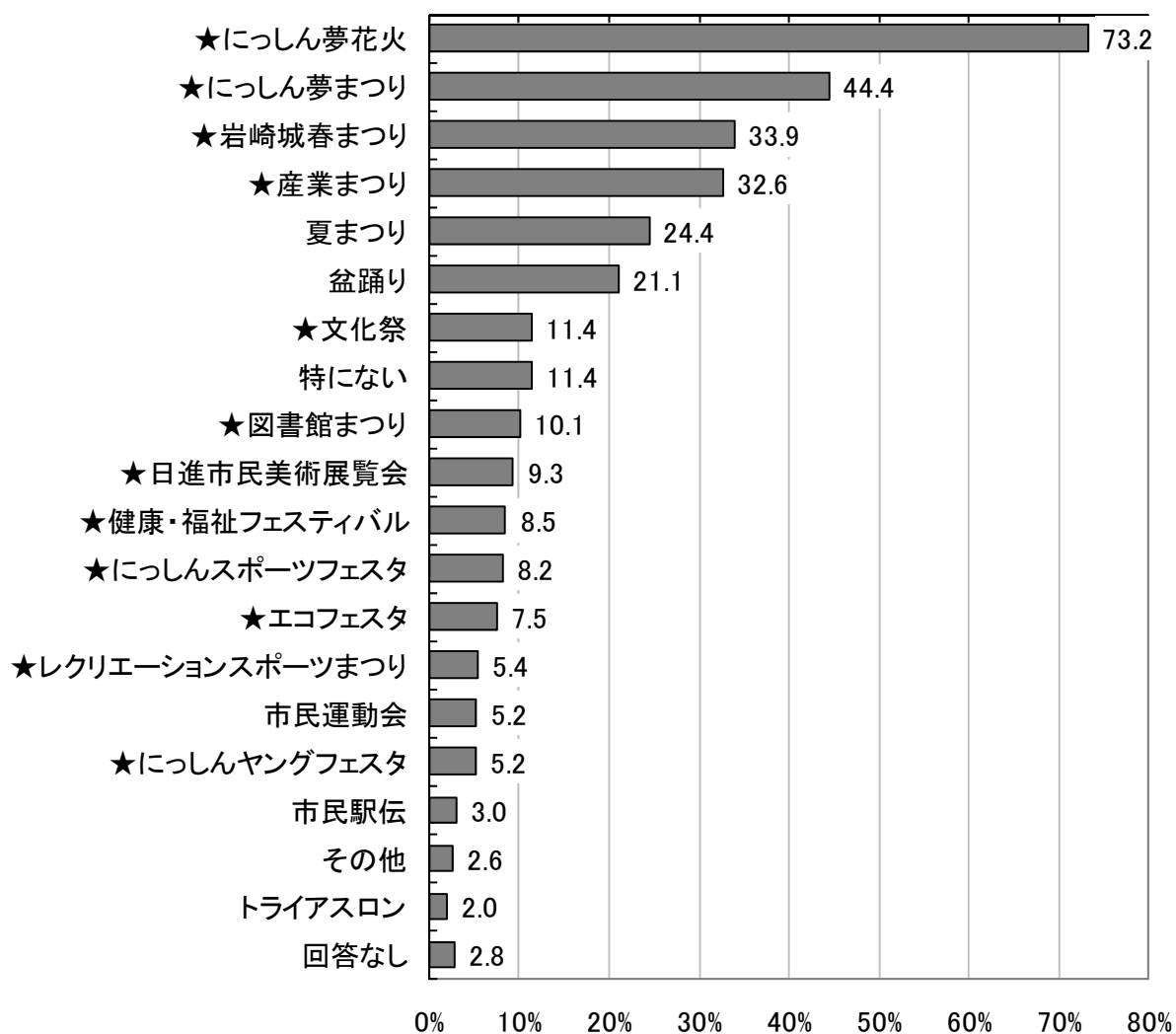
問48 日進市全体のイベントとして、どのようなものを開催もしくは継続してほしいですか。あてはまるものを5つまで選び、○印をつけてください。

開催・継続してほしいイベントがある人は、85.8%で、そのうち「にっしん夢花火」が73.2%と最も高くなっています。

【「開催・継続してほしいイベント」の傾向】（図8-3）

○開催・継続してほしいイベントがある人（全体から「特にない」と「回答なし」を除いた人）は、85.8%で、そのうち「にっしん夢花火」が73.2%と最も高く、次いで「にっしん夢まつり」が44.4%、「岩崎城春まつり」が33.9%「産業まつり」が32.6%と続いています。

図8-3 「開催・継続してほしいイベント」



（★マークは、既存のイベントです）

（４） 市内の観光・名所について（問 49）

問49 あなたは、市外からお客さんが来たときに、市内で案内したい場所や施設がありますか。

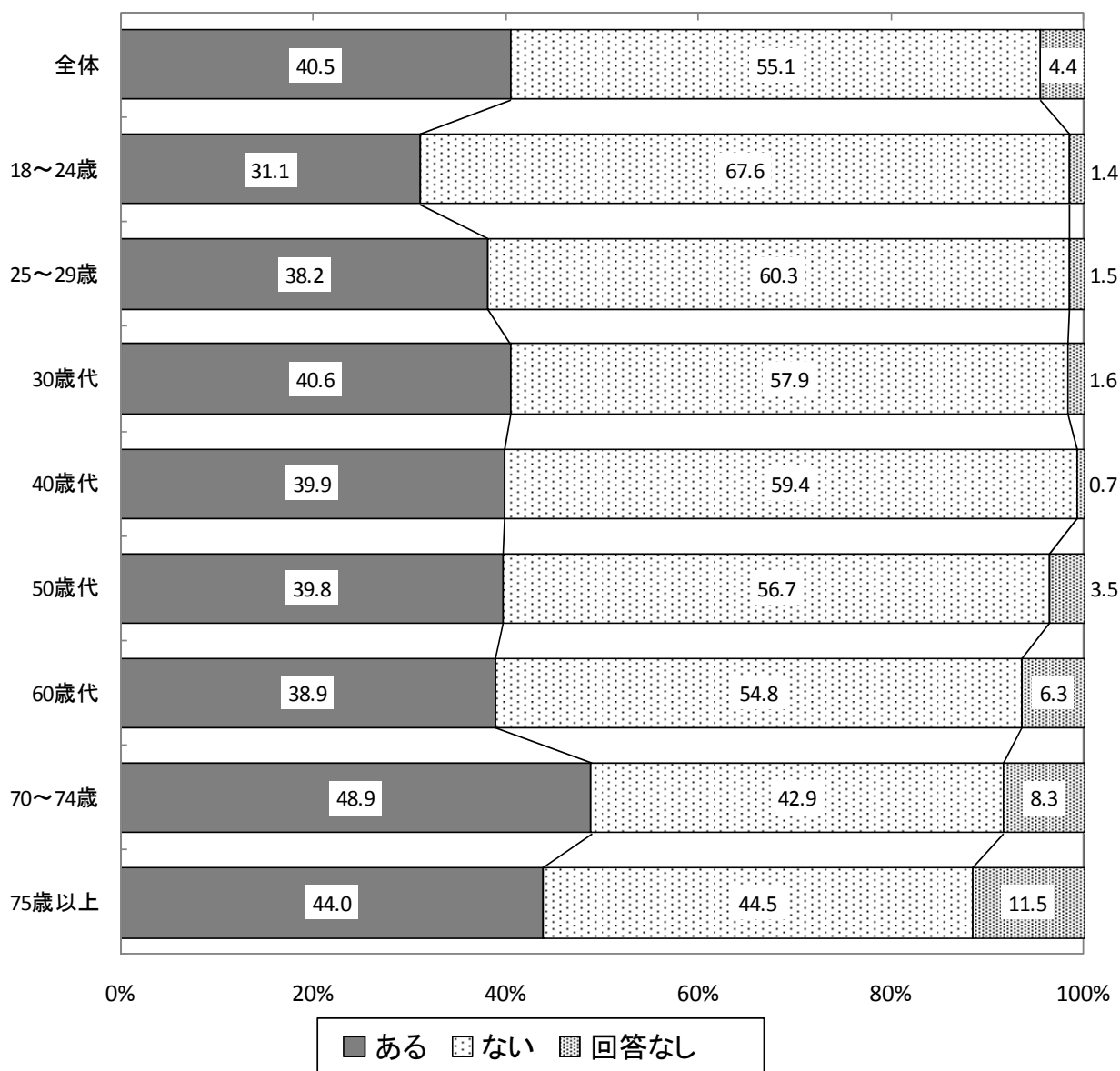
「ある」と回答した人は、40.5%となっています。

【年齢別にみた「市内の観光・名所について」の傾向】（図 8-4）

○「ある」と回答した人は、40.5%となっています。

○年齢別にみると、「ある」と回答した人は、70～74歳で48.9%と最も高く、18～24歳で31.1%と低くなっています。

図 8-4 年齢別「市内の観光・名所について」



(5) 市内の案内したい場所や施設について (問 49-1)

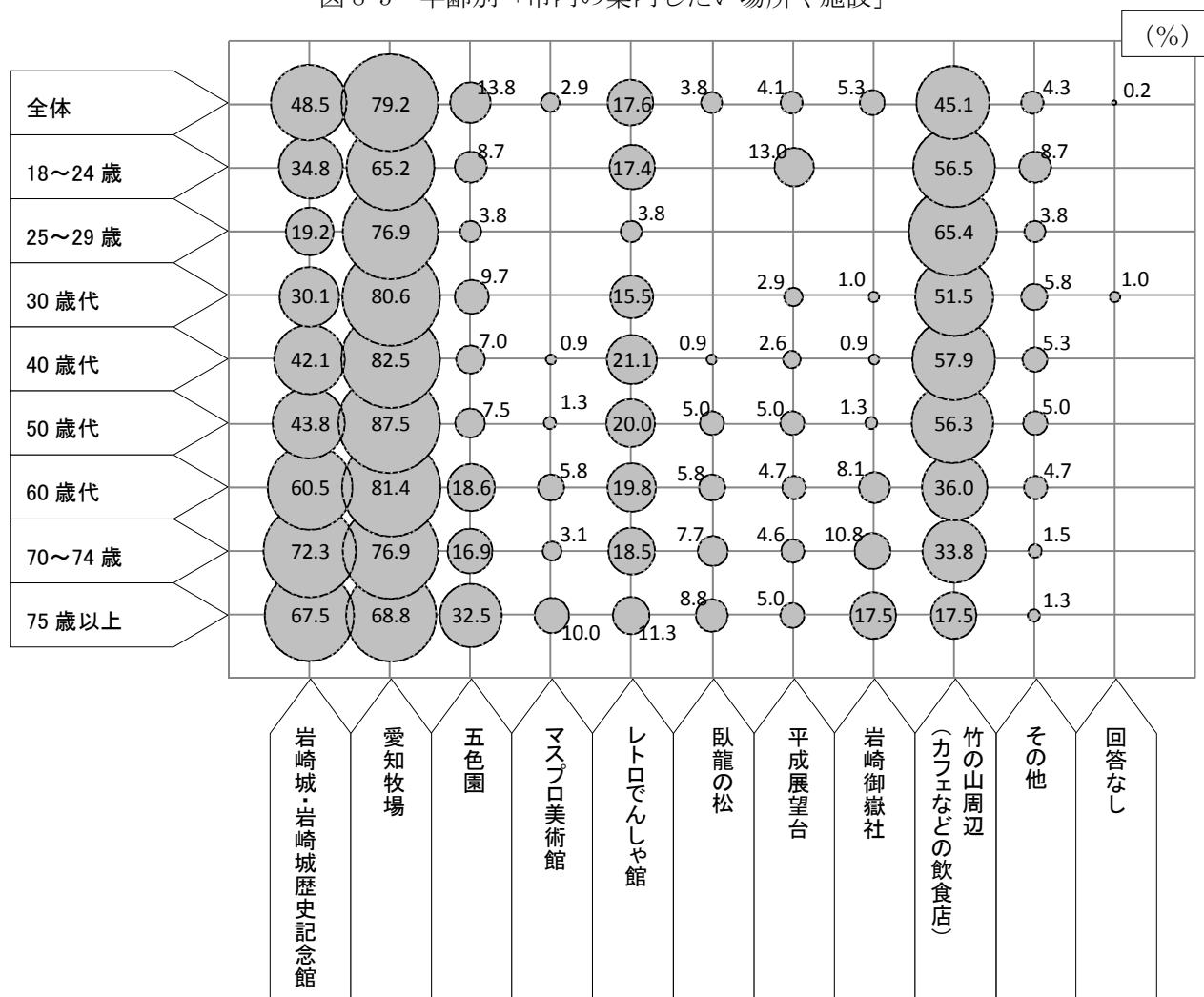
問49-1 問49で市内で案内したい場所や施設があると回答された方にお聞きます。市内で案内したい場所や施設はどこですか。あてはまるものを3つまで選び、○印をつけてください。

全ての世代で「愛知牧場」と回答した人が約7～8割となっており、次いで、若い世代を中心に「竹の山周辺（カフェなどの飲食店）」、60歳以上を中心に「岩崎城・岩崎城歴史記念館」が多くなっています。

【年齢別にみた「市内の案内したい場所や施設」の傾向】(図 8-5)

- 「愛知牧場」と回答した人は、79.2%と最も高く、次いで「岩崎城・岩崎城歴史記念館」48.5%、「竹の山周辺（カフェなどの飲食店）」45.1%となっています。
- 年齢別にみると、全ての世代で「愛知牧場」と回答した人が約7～8割となっています。
- 次いで、若い世代を中心に「竹の山周辺（カフェなどの飲食店）」、60歳以上を中心に「岩崎城・岩崎城歴史記念館」が多くなっています。

図 8-5 年齢別「市内の案内したい場所や施設」



(「その他」の自由記入欄)

図書館	天白川周辺	ヤクルト工場見学など
-----	-------	------------

【食育について】

（６） 食育への関心（問 50）

問50 あなたは、食育※に関心がありますか。

※食育：一人ひとりが、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図られるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習等の取組。

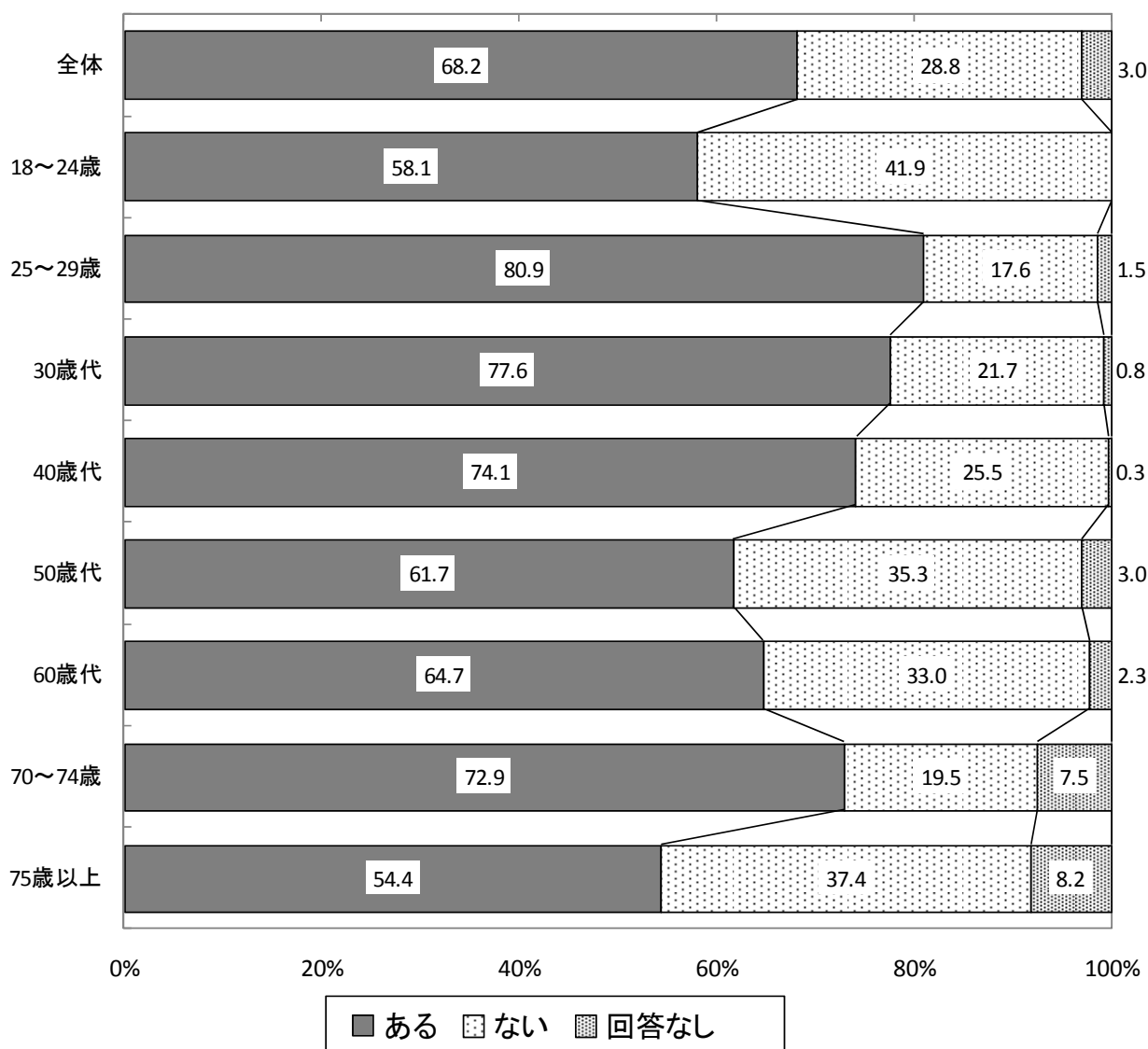
「ある」と回答した人は、68.2%となっています。

【年齢別にみた「食育への関心」の傾向】（図 8-6）

○「ある」と回答した人は、68.2%となっています。

○年齢別にみると、「ある」と回答した人は、25～29 歳、30 歳代で約 80%と高く、おおむね年代が上がるにつれて低くなっています。

図 8-6 年齢別「食育への関心」



(7) 朝食の頻度 (問 51)

問51 あなたは、朝食を毎日食べていますか。

「毎日食べている」と回答した人は、86.2%となっています。

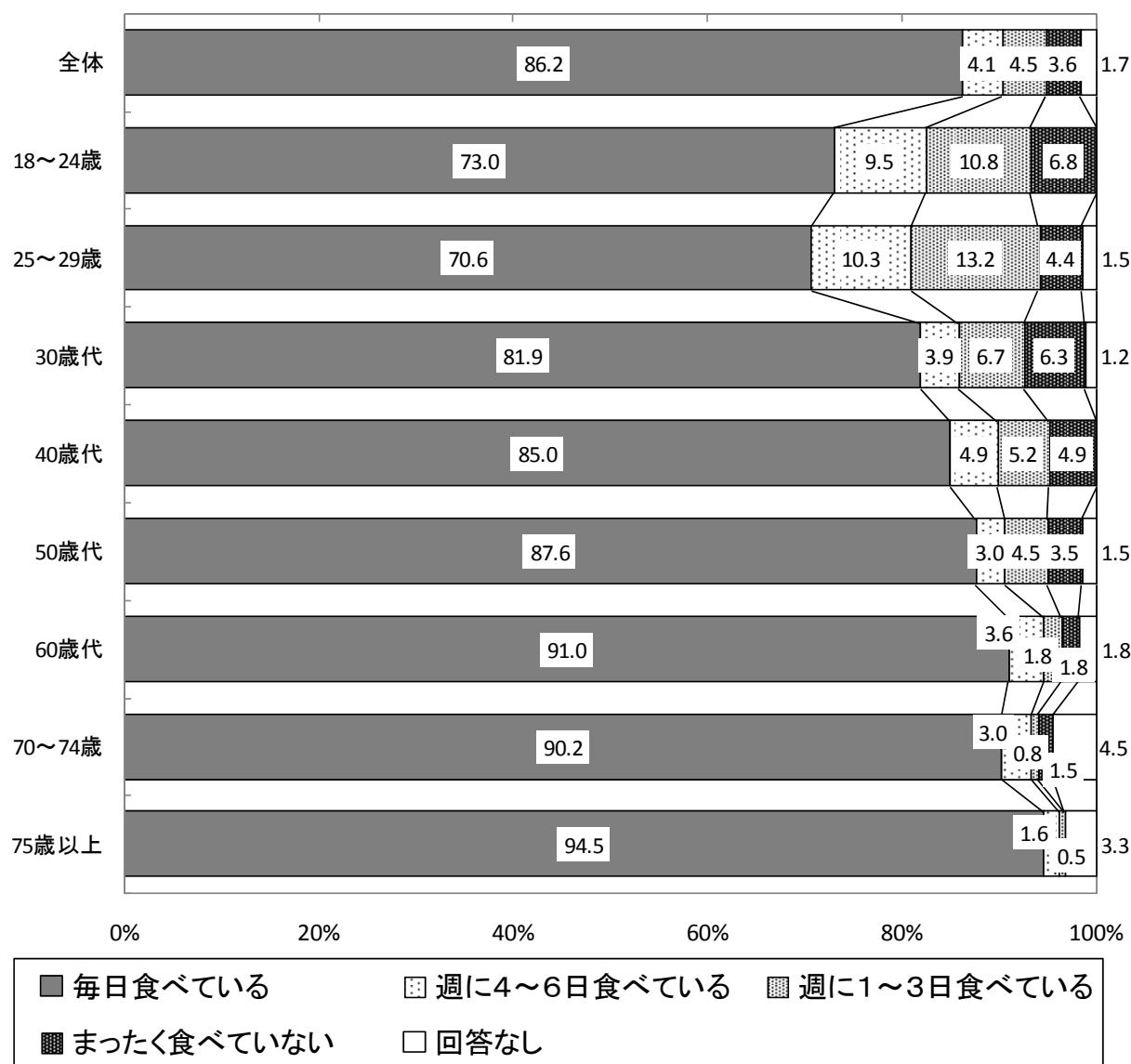
【年齢別にみた「朝食の頻度」の傾向】(図 8-7)

○「毎日食べている」と回答した人は、86.2%となっています。

○年齢別にみると、「毎日食べている」と回答した人は、30 歳以上で 80%以上となり、おおむね年代が上がるにつれて高くなっています。

○また、「まったく食べていない」と回答した人は、18～24 歳、25～29 歳、30 歳代、40 歳代で多くなっています。

図 8-7 年齢別「朝食の頻度」



（８） 食事バランスガイドの周知状況（問 52）

問52 あなたは、食事バランスガイド※を知っていますか。

※食事バランスガイド：望ましい食生活についてのメッセージを示した「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるものとして、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を分かりやすくイラストで示したもの。厚生労働省と農林水産省の共同により平成17年6月に策定された。

「知っている」と回答した人は、32.5%となっています。

【年齢別にみた「食事バランスガイドの周知状況」の傾向】（図 8-8）

○「知っている」と回答した人は、32.5%となっています。

○年齢別にみると、「知っている」と回答した人は、40歳代で39.2%と最も高くなっています。また、「知らない」と回答した人は、18～24歳で56.8%と最も高くなっています。

○「知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した人をあわせると、40歳代と60歳以上で全体より高くなっています。

図 8-8 年齢別「食事バランスガイドの周知状況」

